【ポジティブ行動支援】行動支援計画シート

|  |
| --- |
| ステップ1: 教える行動を決めましょう |
| 自分から気持ちのよいあいさつをしよう「学校で期待される姿」：　すてきなことばをかけよう　　　　　　　　　　　　　　場面：ろうか |
| ステップ2: 児童に伝える「行動を学ぶ理由」を考えましょう |
| ・あいさつをすると、自分も相手もいい気持ちになるから・あいさつをすると、自分も相手も元気になるから・相手と心がつながり、仲良くなれるから・相手の様子がわかるから・あいさつは、周りの人を嬉しく、元気にする“すてきなことば”だから |
| ステップ3: 具体的な行動の例を考えましょう。 |
| できている例 | できていない例 |
| ・相手に届く声で言う。・相手の顔を見て言う。・自分から先に言う。 | ・不必要に大きな声であいさつをする。・相手に聞こえない声であいさつをする。・あいさつをされても，あいさつをしなかったり，下をむいたりする（横をむく）。 |
| ステップ4:　行動を教える計画を立てましょう（導入） |
| ・全校朝会で教員が、あいさつの例（できていない例→できている例）を見せ、あいさつの「あい言葉（“あ”いてを見て、“い”い声で、“さ”きに、“つ”づけて）」を伝える。・朝会後の授業で、学級担任が、各学級であいさつの「あい言葉」を確認し、学級であいさつの練習をする。声の大きさの基準についても説明する。二人一組で練習した後、何人かが前に出てロールプレイを行う。ロールプレイした子のできていた部分（あい言葉を中心に）を積極的にフィードバックする。その後、全員であいさつして、できていた部分を積極的にフィードバックする |
| ステップ5:　日常生活の中で実践するための計画を立てましょう（練習・定着） |
| 行動を引き出すAの手立て・あいさつ運動を行う。○○委員会の児童は、あいさつ運動の時に「あい言葉」のたすき等を身につける。・あいさつの“あい言葉”のポスターを掲示する。・声の大きさの基準を示したポスターを掲示する。 |
| 行動に対するポジティブフィードバックをするCの手立て・校長先生に朝会で褒めてもらう（あいさつのグラフがある場合はグラフを使って）。・あいさつのグラフを掲示する。・各学級で担任が、すてきなあいさつができていた児童を積極的にほめる。 |
| ステップ6:　取り組みの成果を確認するための記録（取り組みの導入前後の記録）の方法を考えましょう |
| ・人数を記録する。月に２回程度○○委員会の児童（６名）にお願いする。記録の方法は、3名1組で、①自分からあいさつした児童、②あいさつすると返してくれた児童、③あいさつをしなかった児童のそれぞれの担当を決め、各自がカウンターを使って記録する。 |